

# 大規模焼却は循環型社会に逆行

## 山本のぶひろ県議、廃棄物処分場建設予定地を調査

山本のぶひろ県議は11月26、27日、ゴミ問題研究家の岩佐恵美さん（元日本共産党衆・参院議員）とともに、山都町東竹原地区の産廃最終処分場計画地と、御船町上野地区のごみ処理施設計画地を調査し、意見交換しました。

山都町東竹原の計画は、阿蘇の南外輪山南東部に位置し、約19ヘクタールの山あいには廃プラスチックや金属くず、汚泥などを30〜60年間受け入れる



山都町の建設予定地を調査する岩佐氏=11月26日、山本県議撮影

東京ドーム2杯分の管理型最終処分場と、廃棄物を粉砕し分別する中間処理施設の建設が計画されています。2028年度の稼働開始に向けて環境影響評価の手続きに入っていますが、地元住民だけでなく処分場からの排水を心配する宮崎県側の住民からも不安の声が上がり、事業者はいったん環境アセスの手続きを取り下げています。

いっぽう御船町上野地区の計画は、産廃処理業者の石坂グループが大阪府の大栄環境と新会社を設立し、上益城5町側から借り受けた土地に、一日400トン規模の焼却炉と900トンの産業廃棄物を選別破砕するリサイクル施設を建設する計画。10トントラックが一日100台出入りするというものです。こちらの方も地元住民らから計画反対の声が上がり、「産廃施設建設を考える会」が設立されています。

岩佐さんは、環境汚染の懸念や、産廃は事業者が処理することが法に明記されていること、大型施設には広域・遠方からゴミがかき集められ運び込まれ、ゴミの減量に逆行しかねない危険性を指摘。施設建設への反対は、住民のエゴではないと強調しました。

## もう一度「宝の海」を取り戻そう

### 有明海の再生を考える学習会

11月19日、有明海の再生を考える学習会が熊本市で開催され、山本のぶひろ県議も参加しました。主催は有明海再生NET。

もともとは国が主張する「基金による有明海再生案」がどういうものかを学ぶ機会として企画されましたが、講演を要請した九州農政局からの出席は実現しませんでした。そこで「よみがえれ！有明訴訟」弁護団の堀良一弁護士が、短期開門調査が実施されて以降、国が開門調査をかたくなに拒んでいる現状について報告。また、高橋徹・元

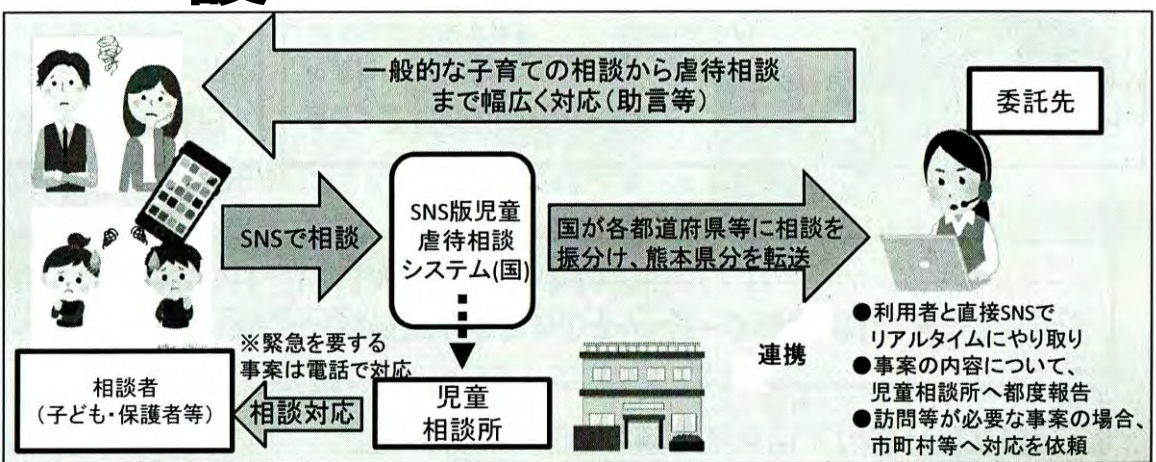
保険科学大学教授が、なぜ開門調査が必要かについて講演しました。

有明海再生と係争和解のために、国は話し合いのテーブルにつくべきです。

### 提案された補正予算案（表面の続き）

### 児童虐待相談窓口の開設

国がスタートするSNS相談システムから転送される相談への対応体制を整備するもの（下図）。



### 統一協会被害 悲痛な家族の訴え

今も統一協会の勧誘活動が行われ、新たな被害を生み出し続けています。先日、統一協会に入会した被害者の、家族の方からお話を伺う機会がありました。知らないうちに莫大な金額が統一協会に献金されていたとのこと。

「お前はだまされていた」といから説得を試みても、「あなたにはサタンがとりついている」といって取り合おうとしない。洗脳によって家族の絆を破壊していく非情。怒りに胸が震えました。カルト集団の反社会行為を根絶するための政治の役割が求められます。（山本のぶひろ）





## 12月県議会で提案された補正予算案 物価高騰やコロナ感染拡大への対策など

12月定例議会で提案された補正予算案のうち、主な内容について紹介します（採決は22日。詳細は山本県議執務室にお尋ね下さい）。

### ○農林水産事業者への支援

肥料や飼料、生産資材、光熱費の価格高騰の影響を緩和するため、農業者・漁業者への支援をおこないます。



【主な内容】  
 ・化学肥料の施肥量低減に取り組み農業者に、肥料費増加分を助成。

・耕畜連携やTMRセンターの活用等に取り組み酪農家に、購入粗飼料コスト増加分の一部を助成。  
 ・肥料やビニル被覆資材等の高騰に対し、生産資材コスト10%以上の削減を目的

とする資材の導入を支援。

・光熱費の高騰を受け、野菜果樹の集出荷や小麦大豆の共同乾燥施設、農業水利施設、漁協が管理する共同利用施設の動力光熱費増加分の一部を助成。



冷蔵冷凍施設



ビニル被覆施設

### ○交通・運送事業者への支援

地域交通および運送事業者の、原油価格高騰の影響を緩和する支援をおこないます。

#### 【主な内容】

・地域鉄道、バス（路線、高速、貸切）、定期航路、タクシー事業者に対し、燃料価格高騰への補助をおこないます。  
 ・県内の運送事業者（軽貨物含む）に対し、燃料費高騰



## 12、1月の無料法律相談会のお知らせ

日時 ・12月23日（金）13時30分より  
 （来年1月は26日（木）を予定しています）  
 場所 山本のぶひろ生活相談所  
 （中央区渡鹿5丁目19-7）  
 弁護士 久保田紗和さん（熊本中央法律事務所）  
 事前の予約が必要です。お問合せは362-5181まで。

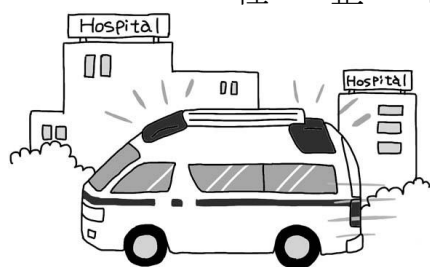


新型コロナウイルスの感染拡大への対応のイメージ図（県資料から）

### ○新型コロナウイルスの感染拡大への対応

#### 【主な内容】

・療養支援センターによる健康観察や陽性者登録、医師の配置による相談体制の確保など  
 ・フォロワーアップ体制を強化。  
 ・医療・検査等体制整備に対する経費。  
 ・ワクチン大規模接種会場の設置運営。



### ○医療・介護・保育施設等への支援

#### 【主な内容】

・医療・介護・保育施設に対し、物価高騰にかかる光熱水費、燃料費、食費の上昇分の一部を支援。

### ○今年台風14号等への被害復旧

#### 【主な内容】

・今年9月の台風14号等によって公共土木施設や農林水産関連施設などに発生した被害の復旧。  
 ・県立学校の施設復旧（天草拓心高校校舎他20校）。

### ○防災、減災、国土強靱化への対応

#### 【主な内容】

・流域治水の推進に72億円余（人吉市御溝川放水路整備、球磨村川内川の砂防激特事業など）。  
 ・物流・人流確保ネットワーク機能強化に59億円余（大矢野道路、大津植木線、益城中央線、熊本港土砂処分場など）。  
 ・インフラ老朽化対策に66億円余。  
 ・農地、森林、漁港等の防災減災対策に110億円余。

（裏面の左下欄に続く）